

## 関東在住島根県出身の若者との意見交換会 概要

日時 平成 29 年 8 月 5 日 (土) 14:00 ~ 16:00  
 場所 東京都 OBI ホステル (中央区日本橋)  
 参加者 環境政策課 力石利久、狩野まゆみ、中島亮  
 PJ メンバー 田中輝美氏  
 若者 10 名 計 14 名

資料 2

### 暮らしについて

- Q 現在の都会での暮らしに魅力を感じますか  
 感じる、どちらかといえば感じる・・・7  
 感じない、どちらかといえば感じない・・・3
- Q 家族や地域の人とのつながり、助け合いがある暮らしに魅力を感じますか  
 感じる、どちらかといえば感じる・・・10  
 感じない、どちらかといえば感じない・・・0
- Q 自然との共生、ゆったり、のんびりした生活に魅力を感じますか  
 感じる、どちらかといえば感じる・・・9  
 感じない、どちらかといえば感じない・・・1

### 消費について

- Q 消費の際、重視するものは何ですか (2つ選択)  
 安さ・・・6  
 利便性・・・4  
 デザイン・・・4  
 品質・・・5  
 ブランドやメーカー・・・2
- Q 消費の際、シェアすることについてどう思いますか  
 シェアすることに抵抗はない・・・5  
 自分の使うものは購入したい・・・5
- Q 消費の際、中古品やリサイクル品を買うことについてどう思いますか  
 中古やリサイクル品を買うことに抵抗はない・・・7  
 新品のモノを買いたい・・・3
- Q 地球温暖化を防ぐための取組みが、私たちの生活の質にどう影響すると思いますか  
 生活の質を上げる・・・2  
 生活の質は変わらない・・・5  
 わからない・・・3
- Q 地球温暖化を防ぐために、今の社会を変えることができますか  
 自分たちの世代が中心 (主役) となって変えるべき・・・8  
 自分たちの年上の世代が中心 (主役) となって変えていくべき・・・2

#### 主な意見

・シェアハウスで5人で暮らしている。出身も学部もバラバラなのでぶつかることはあるが、それも醍醐味。  
 ・シェアに抵抗はないが、可能なら自分のモノを持ちたい。シェアハウスはやってみたい。そこから生まれる何かがあると思う。  
 ・シェアすることはモノによる。シェアハウスは抵抗があるが安く済まされることはやりたい。

## Q 2030年頃の理想の暮らしはどんな暮らしですか？

	そう思う	どちらでもない	そう思わない
プライベートを犠牲にしても、会社の中で出世をしたい	1	1	8
残業や休日出勤があっても、高い報酬の仕事をしたい	3	0	7
影響力の大きい、事業規模の大きな仕事をしたい	4	3	3
技術や感性を活かして、自分にしかできない仕事をしたい	7	3	0
定年より前に仕事をリタイアして、自分の好きなことに時間を使いたい	1	5	4
仕事よりも、趣味に没頭する生活を送りたい	3	4	3
仕事よりも、友達や恋人、家族を大切にすることを送りたい	6	4	0
ボランティア活動など、社会、地域に貢献する活動に取り組みたい	7	2	1
田舎でのんびりした暮らしに憧れる	6	3	1
多少不便はあっても、田舎で快適な居住空間を楽しみながら暮らしたい	5	4	1
海や山が近く、自然に囲まれて暮らしたい	6	3	1
インターネット通販があれば、近くにショップ、店舗はあまりなくても構わない	3	2	5
都会の暮らしに憧れる	1	5	4
都会で最先端の話題のショップ、エリアで生活を送りたい	2	2	6
都会で便利な暮らしがしたい	2	3	5
豪華な家に住んだり、高級な宝飾品やブランド品を身につける華やかな生活をしたい	1	2	7

- ・落ち着いた場所で、自分の学んだことを活かしたい。今まで支えられて生きてきたので、自分の生まれたところに還元したい。家族や友達と関わりたい。
- ・五感を刺激されるのが好き。自然が好き。仕事とプライベートを分けずに、草木に囲まれて、常に人と関わっていたい。
- ・社会貢献したい。責任感を持ってやっている人はカッコイイ！
- ・島根に帰ったからと言ってキャリアをあきらめるわけではなく、島根でキャリアを積みたい。
- ・島根のために自分の力を使いたい。
- ・島根が嫌いでも都会に出てきた。都会にいる同級生がキラキラして見えた。それは欲求がすぐ満たされるから。でも都会にいながら島根と関わっていたい。

主な意見

現在の（都会での）暮らしに満足している一方、家族や地域とのつながりを大切にしたい、のんびりと過ごしたいという意見が見られた。

消費では価格重視の傾向があり、中古・リサイクルに関しても安く済まされるなら抵抗はない。

シェアに関しては、賛否が分かれたが、人とのつながりを大切にしたいということから、シェアハウスで得るものがあると考えている人もいる。

地球温暖化防止のために、自分たちが何かをしなくてはという意識はあるが、取り組むことによって生活の質が上がるという認識はない。そこに対するPRが必要だと思われる。

情報入手についてはSNSやインターネットが主流であり、HPの情報発信では若者に届かない。

全体的には、島根が好きで島根に貢献したいという気持ちを持っている方が大半。